

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 1 回相模原市広域交流拠点基本計画検討委員会		
事務局 (担当課)		都市計画課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 7 (直通)		
開催日時		平成 2 4 年 2 月 1 0 日 (金) 1 4 時 0 0 分 ~ 1 6 時 0 0 分		
開催場所		サン・エールさがみはら 2 階 第 1 研修室		
出席者	委員	2 3 人 (別紙のとおり)		
	その他	9 人		
	事務局	1 5 人 (都市建設局長、都市計画課長、産業雇用政策課長、商業観光課長、都市鉄道・交通政策課長、都市整備課他 9 人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	4 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 議題 (1) 会長選出について (2) 検討の進め方について ア 広域交流拠点基本計画の策定に向けて イ 検討内容とスケジュール (3) 広域交流拠点の現状把握と将来像について 3 その他		

審 議 経 過

出席委員数が定足数に達していることを確認後、議事に入った。

主な内容は次のとおり。(□は会長、○は委員、●は事務局、■はオブザーバーの発言)

(1) 会長選出について

委員の互選により岸井委員が会長に就任した。また、会長の指名により会長の職務代理を屋井委員が務めることとなった。

(2) 検討の進め方について

事務局から説明した後、質疑応答を行った。主な発言は次のとおり。

- 報道ではリニア新駅の予定地が橋本駅南口の相原高校の敷地が考えられるとあったが、相原高校は県立である。市の一存で新駅とすることは可能なのか。現時点では相原高校前提としない方が良いのか。
 - 相模原市、神奈川県として橋本に誘致していく方向であることを発表した。新駅が橋本のどこになるかはまだ確定しておらず、幅広い検討を行いたい。

(3) 広域交流拠点の現状把握と将来像について

事務局から説明した後、意見交換等を行った。主な発言は次のとおり。

- 広域交流拠点の方向性について、学識経験のある方から専門的見地からのご意見をいただきたい。
- 当該エリアは、首都圏での重要な役割に加えて、リニア中央新幹線によるポテンシャルの向上も見込まれることから、発展的な議論ができる場所だと感じている。「広域交流拠点都市」と「広域交流拠点」の違いを明確にしておきたい。広域交流拠点に6つの将来像は詰め込みすぎているように感じる。
 - 「広域交流拠点都市は相模原市全体」「広域交流拠点は橋本・相模原駅周辺」を意味する。広域交流拠点は都市間連携を図るための核であり、その範囲にすべてを押し込める訳ではない。
- 資料中「相模原市の目指すべき姿」「社会的要請」があるが、両方に市独自の要請が入っているように見えるので、整理してはどうか。
- 鉄道施設については都市計画決定せずに進めると理解しているが、新駅周辺のまちづくりと都市計画の関係についてはどのように考えているか。
 - リニア中央新幹線は全国新幹線鉄道整備法により手続きを進めている。これまで、同法による新幹線の路線や駅自体の都市計画決定は行っていない。周辺のまちづくりについては、地元意向により色々な手法があると思うが、都市計画決定手続きを行う事例もある。
 - 駅前広場も含めて一体的な土地利用を進めるため、都市計画の手続きにより

進めていきたい。

- 「相模原市の目指すべき姿」に社会的要請を加味することが重要である。超高齢社会において、リニアから乗り換える際にバリアが発生することは避ける必要がある。
- 新横浜の駅前、東海道新幹線開通時は何もなかったが、30年経って大きく都市構造が変わった。リニア中央新幹線の開通より東京-名古屋間が40分となれば、名古屋から学生等の人材を受け入れる考え方も出てくる。市としてのビジネス・暮らし方のあるべき姿を考える必要がある。開業を目標とするだけでなく、開業後の先の夢を描くべきである。
- 次に実際に生活をされている市民に近い委員の方からご意見をいただきたい。
- リニア中央新幹線により都市間の交通利便性が良くなっても、広域交流拠点都市を目指すには、市内全体の交通が整備されないと機能しないのではないかと。市民の利便性や認知度を上げる必要がある。
- 当該エリアでは相模総合補給廠の返還も一つの目玉である。返還の進行状況はどうなっているのか。また、交渉の相手先官庁はどこか。
 - 全210ヘクタールのうち17ヘクタールが返還予定で、残り35ヘクタールは米軍と共同利用予定であり、返還予定地については基本合意の状態にあり、米軍、防衛省、財務省等と調整を進めているが、正式な返還決定がされていない中で具体的な手続きまでは至っていない。
- 市民の方から市内の交通整備についてのご意見があったが、これについてのご意見はあるか。
- 現在の経済情勢は厳しいものがあるが、リニア中央新幹線のポテンシャルもあり市全体が元気になる計画である。公共交通や渋滞対策は、市内の他の地区（相模大野、相武台等）も合わせて検討する必要がある。リニア中央新幹線駅までのアクセス向上に向け、公共交通事業者として協力していきたい。
- 首都圏南西部の広域交流拠点において交通結節機能や観光を含む経済活動の充実が必要であるが、これに係る都市機能についてのご意見はあるか。
- ハード整備は見えやすいが、商業・産業の機能をどう入れ込んでいくかというソフトの検討も重要である。
- 実効性を担保するためには、課題の抽出も重要である。これまでも市と一緒に駅設置の検討を行ってきた。現在においてもポテンシャルのある橋本だが、誰もが降りたくなくなるような人を惹きつける駅となるためには、既存の鉄道・道路の接続が重要となる。ソフトも含めて、首都圏南西部の拠点となってほしい。
- 神奈川県知事も宇宙産業の集積にインパクトがあるという認識である。市内に

集積する事業所の技術を部材製作に活かすこともできる。県としても産業集積に協力していきたい。

- 神奈川県環境基本計画は現在改定を進めている。新たな北のゲートとして環境に資するまちづくりを進めてほしい。ソフトも実現していただきたい。
- 事業所の大山工業団地からの撤退などの動向の中で、30年後の当該工業団地の位置づけをどのように考えているか。
 - リニア中央新幹線などのポテンシャルの向上を前提として、本委員会においても検討を進めていただきたい。
 - 大山工業団地内には、今後リニア駅等も整備を見据えてチャンスと捉えて、研究開発部門を本拠点内への移転やマザー工場として世界に通用する技術は、本拠点内でやっていきたいと考えている企業もある。
- 観光の活性化のためには道路整備が最も重要となる。観光資源の発掘に取り組んでほしい。
- さがみ縦貫道路を鋭意整備している。本基本計画における国道16号の位置づけは重要になってくる。
- 平成26年に駅前広場整備とあるが、都市計画手続きには時間が必要なため、検討を早める必要があるのではないか。
- 総合都市交通計画として市全体の交通計画の方向性が出されている。市民は広域交流拠点だけではなく、市全体の交通体系に興味があるのではないか。
- 総合都市交通計画と本基本計画との関係はどのようなものであるか。
 - 総合都市交通計画ではリニア中央新幹線については、位置づけを行っていないが、市内バス交通の改善等市域全体の交通体系について検討を行っている。総合都市交通計画はリニア中央新幹線の動向によっては適宜見直していきたいと考えている。
- リニア新駅は地下駅となるため、既存駅との接続や連携のあり方について勉強していきたい。
- 小田急多摩線の延伸については、相模総合補給廠の返還後のまちづくりや橋本駅と相模原駅との連携等のまちづくりを検討する中で進めていきたいと考えている。
- 橋本駅における既存駅とリニア中央新幹線駅との接続については、リニア駅の場所が決まらないと検討できない状況にあると認識している。
- 資料中、「低炭素型まちづくり」について、今後何らかの形で示してほしい。
- 本日は多くの委員から、それぞれの立場を踏まえてたくさんご意見をいただくことができたため、次回以降はこれらのご意見を深度化していきたい。

第1回広域交流拠点基本計画検討委員会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	岸井 隆幸	日本大学理工学部教授	会長	出席
2	屋井 鉄雄	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授	会長職務代理	出席
3	飯島 泰裕	青山学院大学社会情報学部教授		出席
4	田所 昌訓	相模原市自治会連合会会長		出席
5	座間 進	相模原商工会議所専務理事		出席
6	齋藤 邦雄	相模原市観光協会副会長		出席
7	櫻井 正友	市民公募委員		出席
8	宍戸 和夫	市民公募委員		出席
9	渋谷 隆宏	市民公募委員		出席
10	伊藤 喜彦	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社東日本企画部長	代理出席	出席
11	小柳 淳	小田急電鉄株式会社交通企画部長		出席
12	高橋 泰三	京王電鉄株式会社計画管理部長		出席
13	三木 健明	神奈川中央交通株式会社運輸計画部長		出席
14	中村 正次	国土交通省関東地方整備局企画部広域計画課長		出席
15	荒木 智彦	国土交通省関東運輸局企画観光部交通企画課長	代理出席	出席
16	遠山 至	神奈川県商工労働局産業部産業立地課長		出席
17	青木 崇	神奈川県県土整備局環境共生都市部環境共生都市整備課長	代理出席	出席
18	三枝 薫	神奈川県県土整備局環境共生都市部交通企画課長		出席
19	津村 優介	神奈川県警察本部交通部交通規制課長	代理出席	出席
20	加藤 一嘉	相模原市環境経済局経済部長		出席
21	石川 敏美	相模原市都市建設局まちづくり計画部長		出席
22	朝倉 博史	相模原市都市建設局まちづくり事業部長		出席

23	古川 交末	相模原市都市建設局土木部長	代理出席	出席
----	-------	---------------	------	----

オブザーバー

	二村 亨	東海旅客鉄道株式会社中央新幹線推進本部企画推進部担当課長		出席
--	------	------------------------------	--	----